

船舶航行検知システム

概要

本システムは、回転レーザスキャナを利用した船舶航行検知システムです。監視フィールド内に船舶が侵入すると距離測定値が変化することを利用して、船舶を検知し、工事現場へ船舶の近接を知らせます。

回転レーザは、これまで防犯監視で用いられている1方向定点照射に対し、面的な監視フィールドを設定できるため、潮位変動に対処することが可能です。

- 回転レーザのため、干潮時における漁船等小型船舶の未検知を防止
- 最大距離 250m、無色無光沢(反射率 10%)のとき 80m まで検知可能
- 眼に対して最も安全なレーザ基準「クラス1」
- 縦置き、天地逆転置き、横置きが可能
- 夜間時でも検知可能
- 鳥、波、浮遊物等による誤報回避を強化
- 防護カバー(標準)により屋外での長期使用可能

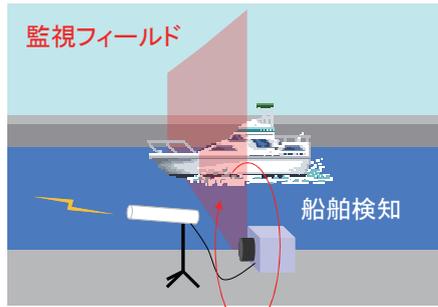
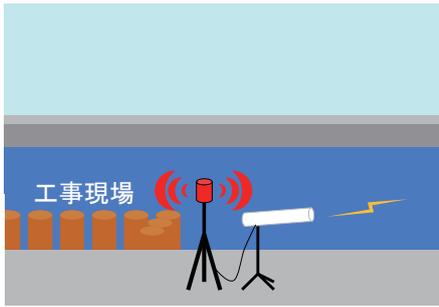


回転レーザスキャナ

適用分野

【船舶の安全に配慮した施工管理】

船舶が工事現場へ近接すると回転灯が点灯し、危険作業を一時中断することにより船舶航行の安全を確保します。



船舶検知

【船舶・建設機械の衝突防止管理】

水門ゲート閉鎖時の船舶確認、建設機械のエリア内侵入検知等に活用できます。

【セキュリティ管理】

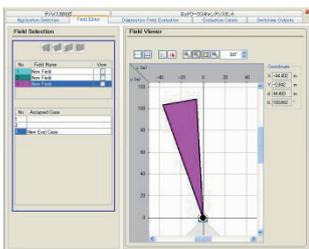
船舶進入禁止区域の監視、入港船舶の交通量調査等に活用できます。



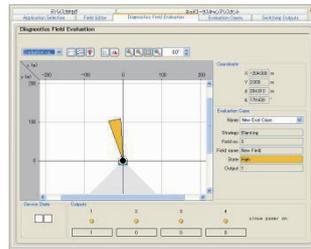
工事現場

ソフトウェア

- 警報信号を回転灯等への外部警報装置へ出力可能
- 任意の監視フィールドをパソコン画面上で設定可能
- 連続検知時間や最小検知寸法等の設定により、鳥、波、浮遊物等による誤報回避を強化
- 検知カウント機能により交通量調査等へ適用可能



監視フィールド設定画面



検知モニタリング画面

仕様

レーザスキャナ仕様

型式	LD-LRS2110
スキャン角度	300°
測定距離範囲	最大 250m/黒色無光沢(反射率 10%) 80m
角度分解能	0.125° ~ 1.5°
レーザ・ダイオード	赤外光(λ=905nm)
レーザ保護クラス	クラス1(アイ・セーフ)
消費電力	36W(負荷含まず)、ヒータ使用時は 144W
防塵・防水性	IP67
寸法	350×391×288mm
重量	9.1kg(取付のための付属品除く)
使用温度範囲	-25°C~+50°C